

# 古平安文学読解の愉悅

— 『成尋阿闍梨母日記』  
『御津の浜松』 など —

## 講師

辛島 正雄 教授

(九州大学文学部国語学国文学講座)

## 日程

2月22日(金) 14時30分～16時30分

(開場 14時00分)

## 会場

天神ビル11階9号会議室

(福岡市中央区天神2-12-1)

## 概要

『源氏物語』など平安文学を代表する作品には、信頼できる注釈書が幾つも備わり、そこでの解釈や説明に首を傾げるようなことは、さほど多くないと思われがちです。しかし、少しマイナーな作品となると、一転、これでよいのかと疑問を抱く箇所、しばしば遭遇します。そのような具体例を、『成尋阿闍梨母日記』や『御津の浜松』の中から取り上げ、どこに問題があり、どうすれば不審を解決できるか、つぶさに検討してみよう。不確かな読みを克服したとき、作品を読み解く楽しさは桁違いに大きくなります。そのような実践をご報告することで、読解をめぐる冒険は無限に広がっていることを、お伝えできればと考えています。

## お申込み

**2月20日(水)まで**に、以下のいずれかによりお申込みください。

1. ホームページの専用フォームに入力：  
URL：<http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~cslp/>
2. Eメール：[cslp@lit.kyushu-u.ac.jp](mailto:cslp@lit.kyushu-u.ac.jp)
3. TEL/FAX：092-802-5104

※ お申し込みの際には、参加者全員のお名前・ご所属・ご連絡先をご記入ください。  
(担当者不在の際は留守番電話にメッセージをお願いします。)

**参加無料**

主催：九州大学文学部・社会連携推進委員会

運営：九州大学大学院人文科学研究院附属言語運用総合研究センター

後援(申請中を含む)：福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・福岡県高等学校国語部会